

親子の学び応援講座



〈目的〉 市町村PTA連合会、郡市PTA連合会において地域の実態に応じた講座を行い、親の学び・家庭での実践活動を支援する。

本郷こども園保護者会における講座の様子

- ◆とき 令和2年1月25日(土)
- ◆ところ 会津美里町立本郷こども園
- ◆参加者 80名(保護者、教職員)
- ◆講演 演題:「子どもとメディア ～親としての向き合い方～」
講師:公益財団法人星総合病院 病院長補佐兼小児科部長 佐久間 弘子 様

〈テーマ設定の理由及び実践活動のねらい〉

保護者より、子どもへのメディアの影響、親のかかわり方についての講演の要望があった。町では「メディアコントロールデー」を設け、親への啓発、意識づけに取り組んでいる。医療の専門的な立場からメディアの上手な使い方や制限、親としての子どものかかわり方について学ぶ機会とし、親への啓発を図る。

〈内容〉

- メディアの問題はなぜ?
- こどもに一番大切なことは・・・
- 現代の子どもに見られる身体の異常
- 自己肯定感を育てる
- 幼児期のメディア漬け予防 他



参加者の感想から

- これからの時代、電子映像、メディアが今以上に必要になってくると思うと絶対NGとは言えないところもあると思う。ただ子供の成長の妨げ、特に脳の発達に影響があることが分かったので、家庭でルールを作って家族で共有して上手に付き合っていきたいと思った。ゲームに関してまず親がやってみようという話は参考になりました。(保護者)
- 子どもへのメディアの影響というものがどういうものなのかを詳しく知ることができてとてもよかった。想像以上にいろんな弊害があり、考えさせられた。家庭でもルールを決めながらうまくメディアと付き合っていきたいと思う。(保護者)
- 子供にメディア以外の楽しい遊びや時間の過ごし方を教えて一緒に楽しみたいと思う。(保護者)
- 改めて小さいうちからの密な関係が必要なこと、父母だけで育てるのではないことや周りの協力あってこそだと学びなおすことができた。家族間でコミュニケーションを増やし、子が育ちやすいように頑張りたい。(保護者)
- 医学的な立場からのお話だったので、とても説得力があり、今の保護者に聞いてほしい内容でとてもよかった。教職員の立場から保護者に啓発していきたい。(教職員)
- 今の子ども達の現状に合った内容でとてもよかった。保護者の方々からもゲームがやめられない、時間を守ってできないとの相談が多いので、具体的なメディアコントロールの仕方やメディアの影響など知ることができ参考になった。(教職員)

